

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第3区分

【発行日】平成18年12月14日(2006.12.14)

【公表番号】特表2002-532267(P2002-532267A)

【公表日】平成14年10月2日(2002.10.2)

【出願番号】特願2000-587933(P2000-587933)

【国際特許分類】

**B 25 C 1/14 (2006.01)**

【F I】

B 25 C 1/14

【手続補正書】

【提出日】平成18年10月13日(2006.10.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 基盤に留め具を打ち込むための動力駆動式工具であつて：  
ハウジングと；

第一前方位置と第一後方位置との間で前記ハウジングに対して軸方向移動するため前記ハウジングに取り付けられた外筒と；

第二前方位置と第二後方位置との間で前記外筒内部において軸方向に可動なピストンと；

前記外筒と前記ピストンとに接続しているリセット装置であつて、前記第一前方位置から前記第一後方位置への前記外筒のコッキング移動に応答して前記ピストンを前記第二前方位置から前記第二後方位置へ自動的にリセットするようになっているリセット装置と；  
を具備する動力駆動式工具。

【請求項2】 前記第一前方位置と前記第一後方位置との間の軸方向距離が、前記第二前方位置と前記第二後方位置との間の軸方向距離よりも短かい、請求項1に記載の動力駆動式工具。

【請求項3】 前記リセット装置が接続要素と把持要素とを具備していて：

前記接続要素は、前記ピストン及び前記外筒に取り付けられたそれぞれ第一部分と第二部分とを有しており；

前記把持要素は、前記接続要素の前記第一部分に解放可能に係合していて、前記把持要素は、前記接続要素の前記第一部分に係合するべく形成されており、前記第一前方位置から前記第一後方位置への前記外筒のコッキング移動中に前記ピストンを前記第二前方位置に把持し、そして前記第一後方位置への前記外筒の到達時に接続要素の前記第一部分、従って前記ピストンを開放するようになっている。

請求項1に記載の動力駆動式工具。

【請求項4】 前記接続要素の前記第二部分は前記外筒に固定されていて、前記外筒のコッキング移動時に前記外筒と共に移動するようになっていて、そして、前記コッキング移動時に前記第二部分が前記第一部分から離間してゆくに従って蓄積されるポテンシャルエネルギーは、前記接続要素により開放され、前記ピストンを前記第二前方位置から前記第二後方位置へ後方に駆動するようになっている、請求項1に記載の動力駆動式工具。

【請求項5】 前記接続要素がばねである、請求項4に記載の動力駆動式工具。

【請求項6】 前記把持要素が前記外筒の壁面に形成されたスロットを貫通して延伸していて、前記外筒の前記コッキング移動中に前記第一部分に係合するようになっており

、前記スロットが係合解除部材を有していて、前記係合解除部材は、前記外筒が前記第一後方位置に到達した場合把持要素に達するべく形成され、かつ前記把持要素を前記第一部分から係合解除、従って前記ピストンを解放するべく形成されている、請求項4に記載の動力駆動式工具。